

あさみ会報

朝見まちづくり協議会
あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007
2008.06.29 発行
第 17 号

朝見まちづくり協議会 第3回定期総会を開催

新体制で3年目のまちづくりへ前進

10年先を目指し、楽しいまちづくりに全力を尽くす!

新副会長・福永雅一、防災部会長・田上勉史氏、青少年育成部会長・殿内祐哉氏が就任

平成20年5月27日19時30分より、朝見市民センター会議室にて朝見まちづくり協議会第3回定期総会が開催された。当会は準備期間を通じると4年目のまちづくりとなり、設立以来当面する課題に果敢に挑戦してきた。その実績は他の住民協議会の注目の的となつて、今後の活動に大きな関心が持たれている。

総会では最初に司会より、代議員定数59名中参加代議員 27名・委任状20名・欠席12名で、会則第9条に則り、定期総会は成立する旨報告があり、朝見まちづくり協議会第3回定期総会の開催を宣言した。

挨拶に立った朝見まちづくり協議会田村正会長は、次のように挨拶をする。
不慮の大災害に備えよう
朝見まちづくり協議会も設立以来3周年を迎えることが出来ました。誠にありがとうございます。中国では大きな地震に見舞われて、ミャンマーでは、今迄こんな大きな台風が来たことなかったため、今度も台風は上陸しないだろうと安心してたいたそうです。そのため大きな災害になり、多くの人命が失なわれたと報道されています。わが国でも、いつ大きな災害に見舞われるかわかりません。

防犯は最善を尽くして
地域の愛知県豊田市で高校生がクラブ活動を終え、自宅に向か



つてるところ襲われて、若い命を奪われてしまいました。この犯人はいつか同じ時間に女生徒が通ることを、知っていたのではないかと思います。この生徒は将来のことを友達に語っていたことは、人の役に立つ職業に付きたい、いつも楽しんで言っていたそうです。朝見地区でも、治安の悪化が進んでいるように思います。少子高齢化時代を向かえ、私たちが今一度考える時が来ているのではないかと思います。

住民の理解と協力で活性化ある
まちづくりを！
朝見地区の安心安全のため、朝見まちづくり協議会は皆様と一緒に、活動していかねばならないと思っております。自分たちの出来ることは自分たちで実行していくことがまちづくりの良心です。国も県も松阪市も向かっていく方向は同じです。地方分権の時代が始まっているのです。朝見まちづくり協議会は、みなさま力で持ち上げていただき、朝見の理念である、自ら考え立ち向かう、地域の声が反映する、行政と協働しよりよい地域を創造するまちづくり、この理念をしっかりと理解して頂きまして、朝見地区が5年先10年先見つめて発展していくことを、お願い致します。

市長からのメッセージ
更なる発展を！
沼田 久代参事(松阪市総合政策部)が挨拶に立ち、松阪市長下村猛市長のメッセージの紹介代読をおこなった。

「朝見まちづくり協議会第3回定期総会の開催、本当におめでとうございます。」地域のことは地域でやる」という基本理念のもと貴協議会が発足されたから、早や3年が経過いたしました。設立総会にご招待をいただいたとき、発足までの「生みの苦しみ」のお話をお伺いいたしました。そして3年後の今、皆さんは「生みの苦しみ」とは違った苦しみを味わっておられることと拝察いたしました。協議会会則に「朝見地区の共通の願いの実現や問題解決を図ると共に、将来の朝見の在りたい姿の具現化に向け、住みよく、希望が持てる地域社会の構築を目指し、自ら考え自ら立ち向かう地域活動を行う」とあります。この目標達成には、膨大なエネルギーが必要と思いが、朝見の皆さんが共通の目的として持ち続けられれば必ず成功します。

たくさんの方が集まれば、そこにはたくさん意見があります。一致させるのは難しいことですが、これを避けては通れないものです。大輪の花は、簡単にはその姿を見せてはくれないかもしれませぬ。しかし、どうか「小異を捨て、大同に付く」という精神で頑張っていたくださいと思っております。結びに、朝見まちづくり協議会がますますの発展と、本日のご参集の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

り申し上げ、簡単ではございますが、私のお祝いの言葉といたします。平成20年5月25日 松阪市長 下村猛

松阪市市議会議員田中祐治氏は、今年も朝見まちづくり協議会定期総会が盛大に開催されましたことをお慶び申し上げます。まちづくり協議会も設立して3年目を向かえ、三重県内のいろんなところで講演等され、非常に活躍されており、注目されている朝見まちづくり協議会でございます。我々住民にとってもこの責務は大きいと感じております。素晴らしい住民協議会をして頂きます事を「祈念申しあげます。祝電を披露があり三重県議員竹上眞人氏の祝電が紹介された。

総会を記念し表彰!
総会を記念し地域貢献(自治会より推薦)されている方々、新屋敷町・宮前太郎、立田町・世古且守、谷川博之表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られた。

審議に先立ち、和屋町・田畑孝さんが議長に選ばれ、副議長に朝田町の東出靖彦さん、書記に協議会役員を代表して小林純一さん、議事録署名人に和屋町の中谷正美さんと世古且守さんが指名され、議事に入った。

事業計画予算を承認
19年度の事業報告、会計報告を鈴木弘会計からあり、賛成多数で承認され第1号議案会則の変更・追加(案)について、北川敏雄副会長より提案説明があり承認されました。続き第2号議案役員人事の承認について、北川敏雄副会長より提案説明があ

り承認されました。第3号議案・事業計画及び予算(案)に移り、協議会全体の事業計画予算案を鈴木弘書記が説明し、部会の事業計画案は各部会長から説明があった。防災部会・田上勉史部会長は仕事のため、鈴木弘書記が代理説明、防犯部会・葛谷光繁部会長、福祉部会・鈴木三千夫部会長、青少年育成部会・殿内裕哉部会長、地域環境部会・神崎勉部会長が行い、審議採決が行われ承認されました。第4号議案20年度予算案について、牧戸博昭會計より、提案説明があり満場一致で賛成承認されました。最後に、閉会の辞葛谷光繁運営委員長より、閉会の挨拶があり、役員一同同結し住民の皆さんにゆえられる、まちづくりを推進しようと呼びかけ終了した。

協議会役員体制	田村 正(和屋)
会長	田村 正(和屋)
副会長	橋本 一男(上七見)
(同右)	北川 敏雄(朝田)
(同右)	福永 雅一(立田)
書記	鈴木 弘(新屋敷)
會計	牧戸 博昭(立田)
運営委員長	葛谷 光繁(大宮田)
副運営委員長	田上 勉史(立田)
事務局長	鈴木三千夫(上七見)
會計監査	清本 宗郎(大宮田)
(同右)	野林 高樹(佐久米)
相談役	山崎 梅裕(下七見)
運営委員会メンバー	
防犯部会	田上 勉史(立田)
防犯部会	葛谷 光繁(大宮田)
福祉部会	鈴木三千夫(上七見)
青少年育成部会	殿内 裕哉(佐久米)
地域環境部会	神崎 勉(上七見)
連合自治会	福永 雅一
公民館	山路 隆生
老人会	藤井 たみ子
P T A	谷川 雅之

災害時に救出に協力して頂く企業の紹介コーナー

(大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限会社・大徳建設株式会社・上川運送株式会社 (下七見) 東部建設株式会社
 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社 (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 宮前クレーン
 (上七見) 鈴木為郎農産・尙橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

平成20年度自治連合会

自治連合会は住民協議会と

協働して『まちづくり』に全力！

連合自治会長・福永雅一氏、副会長・北出勝郎氏
書記・小林 豊氏、会計・今西 隆氏が就任する。

第1回朝見地区自治連合会が開催される。朝見まちづくり協議会と協働体制で！

平成20年4月1日19時30分より朝見地区自治連合会が開催され、始めに20年度新役員体制の人選と引継ぎが行われた。(新役員人事は別表)今回第1回となる朝見地区自治連合会会長は、平成20年4月26日土曜日 19時30分(朝見市民センターにて)開催された。議題は時代は住民協議会への流れとなってきた朝見地区も自治会が中心となって各団体が集まって住民協議会が設立されたのであり、これからの時代は自分の町がどうの・と言う時代ではなくなっている。会則 第2条の目的第8条に則り民主的に運営されている。町の代表である各自治会長も住民協議会の代議員となり参加していくことが大事でないか！など語りあわれた。これからは自治会長の1年任期、住民協議会の2年任期などの特徴を生かし、みんなで朝見にとって良いものを作っていくことという会合となった。他にも意見が活発に交わされ、協議かなされ自治会からの住民協議会、公民館、老人会事業への予算の承認がなされた。今後毎月定例会として自治会長会は開催されていく。



- 自治会長一覧(地域順)
- | | | | |
|------|--------|------|-------|
| 朝田町 | 今西 隆 | 立田町 | 福永 雅一 |
| 和屋町 | 大津 喜三男 | 上七見町 | 神崎 義光 |
| 下七見町 | 奥田 清春 | 新屋敷町 | 北出 勝郎 |
| 古井町 | 高野 正輝 | 西野々町 | 今津 光雄 |
| 佐久米町 | 小林 豊 | 大宮田町 | 大井 寛 |

新企画 町別ふれあい出前講座を開催

平成20年6月17日13時30分 梅雨間の晴天のもと、新屋敷公民館にて福祉部会と老人クラブ(寿会)と共催で「ふれあい出前講座」を開催した。

町には、お元気な在宅高齢者の方々が、畑仕事や留守番などして元気に過ごしておられます。市民センターや地区の公民館行事などには、体調や交通の便などから参加しなくても出来ない方々沢山おられます。今までは事業計画の折々に、参加してほしいとの気持ちは一杯ありましたが、足の関係から諦めていたが、「出て来て！から出かけて行く」という積極的事業の発想の転換を行い計画をしました。今回一番に希望の上があった、新屋敷町から実施をしました。始めてのことであり内容は行政と相談の上、第四地域包括支援センターの協力を得て行うことになりました。当日は初めに老人クラブ会長の藤井たみこさんが、今回の「ふれあい出前講座」の意義を説明しながら楽しい時間をすごしましよと挨拶をした。鈴木三千夫福祉部会長は、昼間家庭や町を守っているのは皆様方であり、安心安全な地域づくりは皆さんがあつてこそ守られてるとして、緊急時の心構えなどを具体的に語った。出前講座では包括センターから、誰でも出来るストレッチとして、タオルを使った体操をユーモアたっぷりに、説明しながら行った。首・肩・腰などの筋肉を伸ばす体操を全員が行いました。質問のあつた腰を伸ばす体操では、全員が四つんばいになりながら汗を流した。日常生活の中、行っていくことが大事として、風呂に入った時、寝る前に布団の上などで、気軽にいうと効果が出る」と話されていた。休憩には、地元の方が、今旬の「びわ」を振舞って頂き、楽しい語らいのひと時を過ごした。参加者の方々からは、是非とも次回の開催を行ってほしいとの声が上がっていた。初めての企画なので心配をしていますが、三々五々と手押し車や自転車、歩いてなど集まって頂きました。一番身近な町内で無理なく、気軽に参加できる行事として大成功で終わることが出来ました。



↑タオルを使って筋力を鍛える。



↑最後に全員で記念撮影。